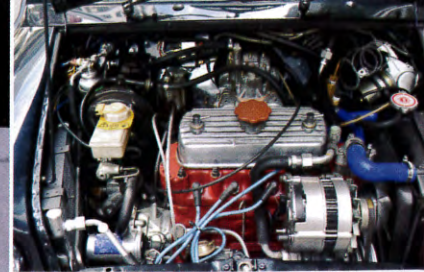




オールドスタイルに定番のパーツと丁寧な板金作業で再現されたMk1のフォルム。真っ赤なバケットシートはコブラシートをベースにカスタマイズされたものだ。



エンジンはキャブクーバーの1300ccをリフレッシュして搭載。軽快な加速が楽しめるのだ。



ひし掛けはさり気ないパーツだが、ロングドライブの際にはありがたみを実感する。



05



Owner:
西島勝也さん

ミニほど走って楽しいクルマはない、という西島さん。パーツも豊富に揃っているから自分だけの1台を作れるのも魅力。



01. フロントエンブレムはもちろんモーリス クーパーS Mk1だ。02. 迫力がありながら美しい線を描く6.5Jのオーバーフェンダーは、インペリアルクラフトのオリジナル品だ。03. ローダウンされた10インチの足にはスピードスターFL IIを装着。深リムがカッコいい。04. 7連のメーターパネルはワンオフで製作。レーシーな雰囲気だ。

MORRIS MINI COOPER S 1275 Mk1 style

'91 ローバー ミニ1.3CAB

オーナーのイメージを再現すべくワンオフで製作

photo&text= 清原直樹 naoki Kiyohara

Special thanks= インペリアルクラフト大阪 tel.072-720-6780

<http://www.imperials.jp>

ロー&ワイドなフォルムの美しいクーパーSスタイルは西島勝也さんの愛車だ。25年前に1.3iクーパーに数年間乗っていたという西島さんにとって、これが2台目のミニとなる。国産車とは違うアナログ感、ダイレクトな乗り味が忘れられなかったカムバック組の西島さんだが、このミニはオーナーのこだわりを詰め込んでオーダーメイドで仕上げられた。「最初に乗ったミニはフェンダーレスのクラシックスタイルにして乗っていたんですが、雑誌などを見ているうちに自分が乗りたいミニのイメージが固まってきました」という西島さん。

ミニショップをリサーチして、西島さんが訪れたのは「インペリアルクラフト大阪」。オールドミニに現代の快適性をプラスしたミニや、フルオーダーで仕上げるミニに定評があるスペシャルショップだ。西島さんのイメージを再現すべく各種パーツをセレクトし、イメージにそぐわなければワンオフ製作したパーツを使って仕上げられたモーリス クーパーSスタイル。グレーメタリックの重厚でレーシーなスタイルと、往年のカフェレーサーを彷彿とさせるインテリア。イメージそのままに仕上げられたミニに大満足の西島さんなのだ。



センターキーの下には細かい温度調整が可能なエアコンを装着。



センター出しのRC40でリアビューもレーシーに演出。